

「新千歳空港国際線ターミナル地域再編事業着工記念式」開催

札幌開発建設部 空港対策官

「新千歳空港国際線ターミナル地域再編事業着工記念式」を東京航空局と札幌開発建設部により、平成28年11月13日(日)に新千歳空港国際線ターミナルで開催しました。

新千歳空港では、国際線は累計旅客数が10月に昨年よりも2ヵ月早く200万人を突破しており、韓国や台湾、中国を中心とするアジア圏観光客を中心に、北海道観光の人气が高まり利用者が大幅に増加しております。これにより、国際線ローディングエプロンや誘導路の混雑により、離陸機の通過待ちや到着機のスポットイン待ちなどが発生している状況です。

本事業は、国際線旅客の急速な拡大等に伴う施設の混雑の解消及び今後も増加が見込まれる国際線需要に対応することを目的として、国際線エプロンの拡張、誘導路の新設を行い、平成28年度に着手し、平成31年度の完成を目指しています。

式典には、来賓として吉川貴盛衆議院議員、和田義明衆議院議員、堀井学衆議院議員、今津寛衆議院議員、

佐藤英道衆議院議員、鈴木貴子衆議院議員、松木謙公衆議院議員、長谷川岳参議院議員、小川勝也参議院議員、徳永エリ参議院議員、鉢呂吉雄参議院議員、高橋はるみ北海道知事、山口幸太郎千歳市長、岩倉博文苫小牧市長、秋元克広札幌市長をはじめとする約70人が出席しました。

最初に、山口東京航空局長が事業の目的、内容を説明し、事業の早期の供用を目指すとして式辞を述べられ、続いて、ご来賓の方々からご祝辞をいただき、新千歳空港と同事業の重要性についてと、早期完成が北海道の発展につながると事業への期待感が示されました。

その後、中村千歳空港建設事業所長から事業概要説明として、整備施設、事業期間、整備内容などを報告しました。

着工記念セレモニーでは、来賓、主催者による鉄入れが行われ、最後に、難波江札幌開発建設部長が謝辞として、お礼とともに事業の早期完成の決意を述べました。



式典の様子（中村所長による事業概要説明）



着工記念セレモニー（鉄入れ）



完成イメージ（着色箇所は整備予定箇所を示します）